

# 区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

## 巻 頭 言

### 令和 読書録

久保田 泰弘

(えびす診療所 院長)

巻頭言を書くにあたり今年1年振り返り色々と思い起こして見ました。元号が令和となり新たな気持ちの高ぶりがあり、そうこうしているうちに、あっという間に台風被害の中、ラグビーワールドカップも終わり、来年は東京オリンピックです。

私的なことと言うと、大国町の地にてペインクリニックで開業して以来19年目となりました。医師会の仕事を手伝わさせて頂き、今年も少しは貢献できたかなと自負しております。(ただの自己満足かもしれません)

ブルーカードやAケアカードシステムに参画させて頂くことによって浪速区の愛染橋病院、なにわ生野病院、富永病院の様々な科の先生方と連携することができ、また近隣の病院の先生方にも様々な科目でお世話になることも多くなりました。今更ながら浪速区で開業して本当に良かったと思っています。ブルーカードやAケアカードは、浪速区医師会会員(A会員)なら誰でも参加することが出来ます。Aケアカードの場合は、ID、PWで会員登録が要るので医師会に会員登録が必要ですが、ブルーカードは竹中会長のときに始まり、佐久間会長に受け継がれ、そしてAケアカードは現体制の澤井会長、有田副会長、徳田副会長、藤吉理事、入野理事の下で大きく成長

しつつあります。(※詳細は浪速区医師会ウェブサイト：<http://www.naniwaku-ishikai.or.jp/>)

さて自分自身に刺激を与えるために私も隙間時間に読書をしますが、今年読んだ中で特に印象に残ったものをいくつかご紹介したいと思います。医師出身の作家と言えば、渡辺淳一先生、海堂尊先生等が有名ですが、2015年にドラマ化された「無痛」(西島秀俊さん主演)の原作者 久坂部羊 先生の本で「虚栄」は、まさに医師ならではの知識満載の小説です。国家プロジェクトである癌撲滅チームに、外科、内科、放射線科、免疫科が関わり、それぞれが足の引っ張り合いをする内容で、ともすれば近藤誠先生ばい医師も登場しリアルワールドと交錯する内容に仕上がっています。知念実希人先生の「レゾンデートル」raison d'êtreとはフランス語で存在理由という意味。キルケゴールの実存主義に由来する哲学用語で、他人とは取り替えることが出来ない「私」の在りようを示したものだそうです。この作品は、末期がんの主人公が連続殺人鬼に利用され、闇の仕置き人として犯罪に加担していき、最後は本来の人間としての存在意義を自覚していくのです。自暴自棄になりかねない主人公の心理が見事に描かれており、医師としての正義感を最後に取り戻していくのです。

また、南杏子先生の作品もユニークです。



「サイレントプレス」筆者の経歴は某女子大卒業後医学部に学士入学し、都内の老年内科勤務後スイスで医療福祉互助会顧問医を務め、その後日本で終末期医療専門医として働いてから作家になられています。終末期医療がテーマで、まさに今問題になっている ACP についても考えさせられる内容です。某大病院の一般外科教授が、自身が末期がんだとわかったとき、自分の予後を、自身の教え子に任せず、在宅クリニックで自然な看取りをする主人公に任せるのです。医局員はみなびっくり。教授は抗がん剤もなし。常に寿命と葛藤する医師と、自然に逆らわずすべてを許容する医師。どのように死ぬかを自分で決めてしまわれるのです。勿論、最近の分子標的薬の登場で、必ずしもステージ分類だけで助からないとは言えない時代になってきましたので、終末期医療はケースごとに慎重に考えていく必要はあると思いますが。この本を読み終えたときは、思わず胸が熱くなりました。

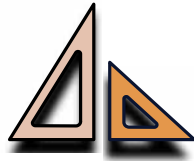
あと、実用書として2冊ほどご紹介いたします。

「Fact fullness」(ハンスロッシング 著) 今年の初めに出版された本ですが、読まれた方も多いと思います。意味は「データを基に世界を正しく見る習慣」。こちらは、まず世界についての13問の質問から始まります。たとえば世界の人口のうち過去20年で極度の貧困にある人の割合はどう変わったでしょう?という質問。三択で、倍増、変化なし、半分であるが、正解は半分。事実を、メディアや他人の言うことによって認識するのは危険で、いかに自分できっちりしたデータを見て判断することが重要であるかが書かれています。本来、我々は、世界を先進国と発展途上国という2面で分類しがちですが、筆者はその分類では、判断を誤るといいます。もうすでに発展途上国というくくりでは語れないそうです。1日あたりの稼ぎが2ドル以下の人々でレベル1、8ドル以下がレベル2、32ドル以下でレベル3、それ以上がレベル4と4つのカテゴリーに分類する。レベル1が10億人 レベル2が30億人 レベル3が20億人、レベ

ル4が10億人。そう考えると我々日本人はかなり恵まれていますね。アフリカでもソマリアとチュニジアではレベルが2つも違うのです。今現在レベル4の平均経済成長率は2%程度まで落ちてきています。それに比べアフリカのガーナ、ナイジェリア、アジアのバングラデッシュといったレベル2の国が5%を超える成長率を上げてきています。今投資するならこれらの国かもしれません。それぞれの章で、ファクトフルネスの真意の説明があり、数字による思い込みがとんでもない誤認識を起こしかねないことを警告しています。

次に「AI 救国論」大澤昇平さんの本。彼は東京大学特任準教授であり、株式会社 Daisy の代表でもあり IBM でブロックチェーンの研究開発も行いながら AI の専門家でもあります。彼は、日本に GAFA(グーグル・アマゾン・フェイスブック・アップル)のような企業が育たないのは今の日本の大学入試制度&教育システムに問題があると指摘しています。基本的には組織の中にテクノロジーを理解しビジネス活用できる管理職は日本には極めて少ないと主張しています。日本の企業は、GAFA に比べデータが著しく不足しているのです。AI に関する雑誌では、月刊保険診療 2019 年 10 月号は「AI & IoT で医療はどうかかわるか」は格段にまとまっていると思います。ディープラーニングとニューラルネットワークの違い等判りやすく解説してあります。その本の中で日本医学放射線学会会長の山下康行先生は「AI にできることはどんどん任せればいいでしょうが、臨床現場は、AI に出来ないことだらけです。医師は対人コミュニケーション力や知識、体験、価値観を総合した判断力を持って問題解決し、最後には責任をとることです。」と述べられています。いずれにしても AI 等により今後、医師の働き方、および医療のあり方が変化していくであろうことは間違いないでしょう。開業しながら、クラウドで共同研究をしつつ、海外で発表したりする時代がやってくるかもしれません。

## 理事会報告



### ◎令和元年度 11 月定例理事会

日 時 令和元年 11 月 22 日〈金〉

午後 8 時～ 9 時 30 分

場 所 浪速区医師会 会議室

### 協議事項

1. 新年互礼会の次第・役割分担等、来年度の新年互礼会（令和 3 年 1 月 16 日〈土〉）について  
＜澤井会長＞  
資料に沿って協議の結果、次のとおり決定。  
①司会は岡藤理事が行う。  
②今回は参議院議員の松川るい氏を招待する。  
③乾杯は、歯科医師の吉川正美会長に依頼する。  
④閉会の挨拶は、有田副会長が行う。  
⑤次年度の新年互礼会は、今回同様、スイスホテル南海大阪（令和 3 年 1 月 16 日〈土〉）にて開催する。

2. 防災対策のための ICT の導入について  
＜久保田副会長＞  
大正区医師会が導入している防災対策 ICT（災害時情報共有）の導入を検討してはどうか。

協議の結果、導入する方向で進めることに決定。

この災害 ICT の具体的なシステムの内容や導入するにあたっての手順を確認し、その後、各会員に対して参加の可否を確認することとなった。

3. 認知症講演会（令和 2 年 2 月 28 日〈金〉開催）の開会のあいさつについて  
＜橋村理事＞

開会のあいさつの担当を決めたい。

協議の結果、昨年同様、有田副会長に決定。

4. 職員の冬季賞与、パートの時間給について  
＜木田理事＞  
冬季賞与については例年通りに決定。  
また、10 月 1 日より最低賃金が 964 円に改正されたため、パート時間給を変更する。

5. 本会年末年始休館日（12 月 30 日〈月〉～ 1 月 3 日〈金〉）について  
＜入野理事＞  
電話転送をする期間は、12 月 30 日（月）から 1 月 3 日（金）とすることに決定。

6. その他  
(1) 令和元年台風被害による被災医療機関等に対する支援について  
＜澤井会長＞  
標記について支援金の協力依頼があった。

協議の結果、本会としても協力することに決定。

また、会員に対しても協力を依頼することとなった。

### 報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について  
（11 月 22 日〈金〉）  
＜澤井会長＞  
次第は次のとおり。  
▷開会  
▷会長挨拶  
▷連絡事項  
(1) 日医標準レセプトソフト（日レセ）の有償化対応方針に関する再周知の件  
(2) 令和元年台風被害による被災医療機関等に対する支援の件  
(3) 次期大阪府医師会代議員および同予備代議員の件  
(4) 12 月度行事会合日程の件  
(5) その他

▷協議  
▷閉会

(詳細 略)

2. 大阪市医師会連合会委員会について  
(11月18日〈月〉) <澤井会長>

次第は次のとおり。

▷連絡事項

- (1) 学術活動への補助金支給の件
- (2) 令和元年度各区医師会分担金徴収に関する件
- (3) その他

▷協議事項

- (1) 平成31年度上半期大阪市ふれあいDOTS(医療機関)事業協力金配分の件
- (2) 令和元年度大阪市嘱託産業医推薦依頼の件
- (3) その他

▷報告事項

- (1) 第58回十四大都市医師会連絡協議会(11月9日～11月10日)報告の件
- (2) 大阪市在宅医療・介護連携推進会議(11月6日)報告の件
- (3) 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会(11月15日)報告の件
- (4) その他

(詳細 略)

3. MCM無線通信訓練について  
(10月29日〈火〉) <澤井会長>

浪速区役所と本会とのMCM無線を利用し、災害時に備え通信訓練を行った。内容は、MCM無線の受電、応答等の確認をするとともに会員医療機関の被災状況をFAXにて回答するという訓練であった。

結果、MCM無線の電波状況が非常に悪く、室内では利用することができなかったため、外に出て通信確認を行なった。

(詳細 略)

4. 地域医療構想の推進に関する説明会について

(11月22日〈金〉) <澤井会長>  
次第は次のとおり。

▷地域医療構想にかかる大阪府医師会の考え方

▷地域医療構想・働き方改革・医師確保について

▷質疑応答・意見交換

(詳細 略)

5. 自立支援型ケアマネジメント検討会議について

(11月14日〈木〉) <有田副会長>  
次第は次のとおり。

▷検討会議の趣旨について

▷守秘義務について

▷出席者の自己紹介

▷検討事例

▷まとめ

(詳細 略)

6. 大阪市介護認定審査会役員会について  
(11月21日〈木〉) <徳田副会長>

次第は次のとおり。

▷開会

▷案件

(1) 大阪市の要介護認定状況について

(2) 大阪市認定事務センターの運営状況について

(3) 令和元年度認定調査員等研修事業の実施について

(4) 要介護認定の平準化に向けての取組みについて

(5) その他

▷閉会

(詳細 略)

7. 多職種連携研修会について  
(9月28日〈土〉) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷開会

▷主催者あいさつ

▷講演

▷発表

- 
- ▷閉会  
(詳細 略)
8. 認知症初期集中支援推進事業第2回関係者会議について  
(9月30日<月>) <橋村理事>  
次第は次のとおり。  
▷対象者について上半期報告  
▷事例報告  
▷広報普及活動報告  
▷認知症に関する活動報告  
▷その他  
(詳細 略)
9. 第3回定期地域ケア会議について  
(10月17日<木>) <橋村理事>  
次第は次のとおり。  
▷浪速区の社会資源共有～Part 8～「あんしんさばーと事業について」  
▷各圏域の事例報告  
▷その他  
(詳細 略)
10. 認知症講演会打合せ会について  
(10月29日<火>) <橋村理事>  
次第は次のとおり。  
▷講演会当日のタイムスケジュールについて  
▷今年度キャッチフレーズについて  
▷認知症講演会チラシの作成について  
▷当日の配布資料について  
▷その他  
(詳細 略)
11. 医師とケアマネの連絡会について  
(11月9日<土>) <橋村理事>  
次第は次のとおり。  
▷ごあいさつ  
▷事例検討  
▷浪速区における医療介護連携システム：A ケアカードについて  
▷総評  
(詳細 略)
12. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議について  
(11月20日<水>) <橋村理事>  
次第は次のとおり。  
▷多職種連携研修会について  
▷在宅医療介護講演会について  
▷各所属での取り組みについて  
▷その他  
(詳細 略)
13. 学術講演会について  
(10月16日<土>) <富永理事>  
講演内容は次のとおり。  
演題 糖尿病性腎症重症化予防を目指した血糖降下薬の選択を考える  
講師 公益財団法人日本生命済生会日本生命病院糖尿病・内分泌センターセンター長 住谷 哲先生  
出席者数 17名  
共催 田辺三菱製薬(株)  
情報提供 アレルギー性疾患治療剤「ルパフィン」  
(詳細 略)
14. 社会保険講習会について  
(11月21日<木>) <岡藤理事>  
大阪府医師会理事 栗山隆信先生に講演頂いた。  
演題は「保険診療の理解のために ～医療における人権問題を含めて～」であった。  
出席者は、医師11名、医療従事者14名の合計25名であった。  
(詳細 略)
15. 医療問題研究委員会について  
(11月13日<水>) <福永理事>  
次第は次のとおり。  
▷開会  
▷委員プレゼンテーション テーマ「地域包括ケアシステム」  
▷今後の予定  
▷閉会  
(詳細 略)
-

16. 第43回府医医学会総会について  
(11月4日〈月〉) <藤吉理事>  
次の演題で発表を行った。

- ①地域包括システムにおけるAケアカードの有用性について (藤吉理事)  
②Aケアカードシステムにおける患者PHRのための自院でのデータ分析  
(久保田副会長)  
(詳細 略)

17. その他  
なし。

次回理事会

令和元年12月20日〈金〉 午後8時～



医師年金のおすすめ

医師には医師専用の「医師年金」があります

医師年金 検索 <http://nenkin.med.or.jp/>

医師年金について詳しく知りたい

受取年金額を知りたい

日本医師会に入会したい

医師年金ホームページをご覧ください。または、下記までお問い合わせください。  
公益社団法人 日本医師会 年金・税制課  
TEL: 03-3942-6487 (平日9時半～17時)

医師年金ホームページでご加入時の受取年金額のシミュレーションができますのでお試しください。  
＜医師年金ホームページ＞▶トップページ▶シミュレーション

入会手続きは、所属医療機関のある都市区医師会を通じて行いますので、直接お問い合わせください。  
医師年金は「日本医師会会費」で、「64歳6ヶ月未満」の方がご加入いただけます(お申込みは64歳3ヶ月まで)。

20171101510

## 11 月度

### 学術講演会報告

日 時 11月16日〈土〉 午後2時～  
演 題 過活動膀胱(OAB)の診断と治療  
講 師 大阪中央病院 副院長 / 泌尿器科  
部長 関井 謙一郎 先生

出席者数 15名  
共 催 杏林製薬 株式会社  
情報提供 過活動膀胱治療剤 ベオーバ  
担 当 富永良子

はじめに

過活動膀胱は尿意切迫感を認める症状症候群です。頻尿・夜間頻尿を伴う場合が多いですが、必須ではありません。また、切迫性尿失禁を伴う場合もあれば(Wet OAB)、伴わない場合(Dry OAB)もあります。症状症候群のため原因は多岐にわたり、前立腺肥大症や感染症などではこの治療を優先する必要があります。適確な診断と治療が必要です。

#### ①過活動膀胱の診断

過活動膀胱症状スコア(OABSS)を記載してもらう事で過活動膀胱の診断は確定します。この段階で治療を優先する原因疾患を除外する事が必要になります。検尿検査・採血検査・超音波検査が有効です。感染症・腫瘍や結石・膀胱神経障害(多量の残尿)が除外されたら、過活動膀胱の治療が開始となります。

#### ⑤過活動膀胱の治療

2015年に示された一般臨床医での初期診療アルゴリズムは、血尿・膿尿がなく、残尿が100ml以下の症例で過活動膀胱治療開始を指示しています。行動療法・薬物療法・神経変調療法・外科療法がありますが、その中で、体重減少・膀胱訓練・骨盤底筋体操・抗コリン剤・β3アドレナリン受容体作動薬が行う事が強く勧められるグレードAの治療方法です。体重減少・膀胱訓練・骨盤底筋体操

は、副作用はありませんが、有効性に個人差があり、効果が出るのに時間がかかる欠点があります。薬物治療は、膀胱を収縮させる副交感神経の働きをブロックする抗コリン剤と、膀胱を弛緩させる交感神経を促進させる $\beta 3$ アドレナリン受容体作動薬がグレードAです。効果や副作用の状況で使い分ける必要があります。

最後に

2015年にJAMAで、2018年にBMJで抗コリン剤と認知症に関する報告がありました。JAMAは「抗コリン薬3年超服用で認知症1.5倍(米高齢者大規模調査データから検証)」BJMは「うつ病、泌尿器系およびパーキンソン病の治療に用いられる抗コリン剤の使用が将来的な認知症発症と強く関連している」と言う内容です。この報告に対しての一定の見解は出ていませんが、今後も過活動膀胱治療で抗コリン剤を使用するにあたって注意しておく問題点と考えられます。過活動膀胱治療薬の第一選択は今までは抗コリン剤でしたが、関連が裏付けられたら $\beta 3$ アドレナリン受容体作動薬が第一選択薬に変わる可能性があります。今後の動向が注目されます。



## 新年互礼会のご案内

令和2年の新しい年を迎えるに当たり、恒例の新年互礼会を下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、万障お繰り合せの上、是非ご出席下さいますようお願いいたします。

日時 令和2年1月18日(土) 午後6時～  
場所 スイスホテル南海大阪  
35階「シェルブルー」  
TEL 06 - 6646 - 1111

※出欠についてのお返事は、医師会まで  
12月25日までにご回報(FAX 6633-6790)下さるようお願いいたします。

## 1月度学術講演会のお知らせ

1月の浪速区医師会講演はお休みです。  
次回多数の先生方の参加をお待ちいたします。





## 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

11月の相談件数は3件でした。在宅医を探してほしい、病院をかえたいがどこも診てくれないのでどうすればよいか等の相談でした。

区役所でAケアカードシステムのパンフレットを新しく作成します。裏面にはAケアカードシステムに参加されている機関全てを掲載します。まだ、参加されていない機関がありましたら、設定・説明に行かせて頂きますので、いつでもご連絡下さい。

また、在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください。よろしくお願いいたします。



### 相談受理実績

#### ■ 個別ケースに関する相談（R1. 11 月度）

① 医科	0 件
② 歯科	0 件
③ 薬局・薬剤師	0 件
④ 病院 地域連携相談室	2 件
⑤ 訪問看護	0 件
⑥ 介護支援専門員	0 件
⑦ 地域包括支援センター	1 件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	0 件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0 件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	0 件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0 件
⑫ 区民	0 件
⑬ その他（ ）	0 件
合 計	3 件

#### ■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	2 件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	0 件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	1 件
	④ 歯科に関して	0 件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0 件
	⑥ 訪問看護に関して	1 件
	⑦ 医療の手続きに関して	0 件
	⑧ その他	0 件
② 介 護	① ケアマネに関して	0 件
	② 地域包括支援センターに関して	0 件
	③ 介護事業所等に関して	0 件
	④ 介護の手続きに関して	0 件
	⑤ その他	0 件
	③ 退院支援に関して	0 件
	④ 看取りに関して	0 件
	⑤ その他（内容： ）	0 件
	合 計	4 件

＜お問合せ＞ 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室  
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル 50B  
TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058





## 浪速区医師会 活動の伝言板

令和2年1月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 3歳児健康診査

#### ●保健福祉センター

1月23日(木)午後1時40分～3時30分  
小児科 橋村夏野子  
眼科 山尾 慎吾  
耳鼻科 大野 聡史

### 1歳6ヶ月児健康診査

#### ●保健福祉センター

1月6日(月) 午後1時40分～3時30分  
愛染橋病院

## BCG接種

#### ●保健福祉センター

1月16日(木) 午後2時～3時30分  
北村 栄作・橋村夏野子

## 急病診療所出務

#### ●中央急病診療所

1月4日(土) 準夜15:00～22:00  
福永 真也・宇田 創



## 大阪府医師信用組合『いししん』は医師会員の専門金融機関です。

組合員にご加入いただき、当組合のサービス(預金・ローン・お振込み 等)を是非ご利用ください。

<p><b>オートローン</b> <small>保証料 不要 手数料 不要</small></p> <p>自動車の購入資金やディーラーローンお借換えに。</p> <p><b>キャンペーン金利</b> 無担保型 固定金利 年1.0% (2020年3月末まで) 限度額 1,000万円 期間 7年以内</p> <p>※ 個人名義で500万円以下のお申込みの場合、原則連帯保証人不要です。</p>	<p><b>教育ローン</b> <small>保証料 不要</small></p> <p>お子様の教育に関する資金に。</p> <p>無担保型 変動金利 年2.475% 限度額 3,000万円 期間 20年以内</p> <p>有担保型 変動金利 年1.775% 限度額 5,000万円 期間 20年以内</p>	<p><b>フリーローン</b> <small>保証料 不要</small></p> <p>旅行資金、ゴルフやリゾート会員権購入、結婚資金等に。</p> <p>無担保型 限度額 1,000万円 期間 10年以内</p> <p>※ 診療所の運転資金、設備資金等の事業性資金にはご利用いただけません。 ※ ローン金利はお問い合わせください。</p>
<p><b>新規開業ローン</b> <small>保証料 不要</small></p> <p>診療所開業に伴う土地購入、テナント敷金等に。</p> <p>無担保型 限度額 5,000万円 期間 20年以内</p> <p>有担保型 限度額 2億円 期間 35年以内</p>	<p><b>診療所ステップアップローン</b> <small>保証料 不要</small></p> <p>いししんはクリニックの経営を応援します。</p> <p>無担保型 限度額 5,000万円 期間 20年以内</p> <p>有担保型 限度額 3億円 期間 35年以内</p>	<p><b>住宅リフォームローン</b> <small>保証料 不要</small></p> <p>自宅のリフォーム、住宅の耐震、バリアフリー工事等に。</p> <p>無担保型 変動金利 年1.075% 限度額 5,000万円 期間 20年以内</p> <p>※ 当初5年間、当初10年間の固定金利型もございます。</p>

※表示金利は2019年12月にお借入れいただく場合の適用金利です。お申込時ではなく、実際にお借入れいただく日の金利が適用されます。※原則として、ご返済終了時にお借入れされる方の年齢が満75歳を超える期間でのお申込みはお受けできません。※ローンには審査がございます。審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。何卒ご了承ください。※上記のローン以外にもローン商品を取り揃えております。詳細については下記の「融資お問合わせ専用番号」までお問い合わせください。担当者が勤務先に訪問することも可能です。お気軽にご相談ください。

## 大阪府医師信用組合

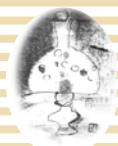
〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町19-14  
(大阪府医師会保健医療センター1階)

融資  
お問合わせ  
専用番号

担当者による訪問も可能です。  
**0120-947-604**  
営業時間 9:00～17:00 / 土・日・祝 休み

いししん 検索  
<http://www.odcu.co.jp>  
ホームページ用QRコード





## あとがき

竹中 秀裕

◆令和元年もまもなく終わろうとしています。本年のしめくくりである巻頭言は副会長の久保田泰弘先生が執筆されています。先生の ICT 関連の知識、人脈の豊富さは常に感心していましたが、忙しい仕事の合間にこんなによく読書もされていたとは知りませんでした。不勉強な私は、ここに紹介された5冊の本はどれも読んだことが無く、恥ずかしい限りです。今後この中の一冊でも精読したいと思っています。

◆令和元年の幕開けから7ヵ月、日本列島は相次ぐ大規模災害にさいなまされました。被災地の医療機関にも大きな被害が出て、いまだ完全復旧まで程遠い状況にあります。11月の医師会理事会において、被災医療機関に対する支援の件が協議され、支援金の協力が決定されました。会員の皆様、私たちも出来るだけ協力をいたしましょう。

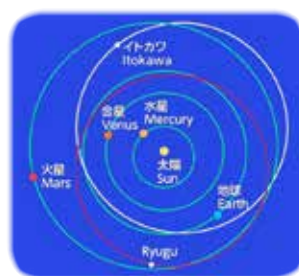
◆災害等多くの暗いニュースの中、国民を鼓舞させる明るい出来事もありました。ラグビー W 杯における日本代表の活躍であります。日頃、ラグビーの試合に見向きもしなかった私も、にわかラグビーファンになり、テレビに見入っていました。日本代表のスローガンとなった「ONE TEAM」が年間の流行語大賞にも選ばれました。

◆12月24日は、浪速区医師会の設立記念日でもあります。昭和28年のこの日に、小さな医師会は産声を上げました。以来66年の間に、先輩方の努力により、大きく育ったとは、まだ申し上げにくいのですが、ほかの医師会とは少し違った、ビリリと辛いユニークさを持った成長を続けてまいりました。今後も「ONE TEAM」として伝統の「和」の精神を中心に希望と夢を持って進んでまいりましょう。

◆希望と夢といえば、宇宙探査機「はやぶさ

2号」を思い浮かべます。5年前の12月3日に種子島宇宙センターから打ち上げられ、3年半かけて小惑星リュウグウに到着。2回にわたって着地し、砂や石を採取しました。そして本年12月3日、地球への帰還にむけてエンジンを噴射。約8億キロメートルを飛行して来年12月頃地球へ接近し、リュウグウの砂や石が入ったカプセルをオーストラリアの砂漠へ投下する予定とのことです。どのようなおみやげを持ち帰ってくれるのか、大いに楽しみとするところです。無事に帰って来ることを祈ります。

◆今年も色々なことがあり、残りもわずかになりましたが、来年も明るいよい年でありませう、皆様方の無事な越年を心から祈念して、令和元年最後のあとがきとさせていただきます。



目次	ページ
巻頭言	
令和 読書録	久保田 泰弘 1
理事会報告(11月開催)	3
11月度学術報告	富永 良子 6
新年互礼会のお知らせ	7
1月度学術講演会のお知らせ	
浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ	8
浪速区医師会活動の伝言板	9
あとがき	10

### 【区医だより】

発行者 澤井貞子  
編集者 中村泰久 藤吉理夫  
印刷所 株式会社 サ ビ